

《全国初、池田発の地域分権》

“自分たちのまちは、自分たちでつくる” まちを守る様々な活動

池田市で全国発の地域分権という制度ができ、3年の経過があり地域の問題を自分たちで解決するため、意見や智恵、汗を出し合い地域の实情に応じた予算提案事業を池田市に対して提出していく事業活動であります。

すでに提案事業が根つき地域のあちこちに設置（広告塔）され、視野に写ると地域住民から課題になり、地域分権が定着した実感があり喜ばしいことです。更なる熱意、智恵を発掘して「継続は力なり」地域力を生かした元気な提案事業活動を石橋南地域コミュニティ推進協議会として展開いたします。

平成22年度の提案事業予算額（総額709万2千円）

平成21年度に石橋南地域コミュニティ推進協議会が予算提案できる金額について変更通知ありました。（事業の実施は、平成22年度になります）

予算提案額は変更前 633,6万円（内繰越分8,6万円）が変更後709,2万円（内繰越分84,2万円）と加算変更決定する。

石橋南地域コミュニティ推進協議会平成22年度予算提案事業（総額709万2千円）

防犯カメラ維持管理事業	校区に設置した防犯カメラの維持管理を行い、犯罪の未然防止並びに子ども等の安全確保を図る。
石橋駅周辺地下道美化事業（新規）	落書きやポスター等により美観が損なわれている市道石橋第15号線ガード下付近の美化を行う事により、通行者の快適性向上及びまちの活性化を図る。 また、同所に掲示板を設置し、地域コミュニティ推進協議会の活動内容等の広報を掲示し、地域住民と情報の共有化を図る。
道路安全対策事業（新規）	西国街道にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る。
避難場所等案内掲示板設置事業（新規）	地域住民の日ごろの危機管理意識を高めるとともに、有事に冷静な対応がとれるよう、地域内に災害時における避難場所等までの経路を掲示する。
コミュニティ誌発行事業	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、広報誌等を発行する。



市立石橋南小学校西門

地域構想の方向性

「まちづくりカルテ」については、当初会員さんから数々な課題、問題、事業の展開構想を記入していただきました。そのシートを元に池田市総合政策部も交えて「地域座談会」を開催。3ヶ月かけて、なぜなぜ、提案事業有きとか、なかなか共有できず議論を詳しく検討をしました。

池田市では、この度、地域分権の主体である「地域コミュニティ推進協議会」のみなさんが地域の問題や今後みんなで協力していくことを整理し、長期ビジョンをもって、今後の地域分権の活動に取り込んでいけるように実施された。この「まちづくりカルテ」は、今後わたくしたち地域で提案事業に重点的、主体的に取り込むことを「石橋南地域コミュニティ推進協議会地域構想」として、池田市ではこの「地域構想」を現在策定の総合計画に方向性として反映される予定であります。

みんなでつくる将来のまちのイメージとしてのタイトルが生まれつつあります。

地域の人が共生し、みんなでつくる 安心・安全・きれいなまち 石橋南
たくさんの方が行き交う、池田の玄関口にふさわしい 商店街のあるまち